

いつまでも
ペットと一緒に



北海道内一円の猫問題に取り組む
NPO法人
猫と人を繋ぐ ツキネコ北海道



◀2代目看板猫エンペラーをだく吉井美穂子さん(左)と
滝澤礼奈さん(右)



◀ツキネコカフェには
親子連れでの来店が多い

猫が人を呼び込み、人が人をつなぐ、絆の10年！ コロナ禍をチャンスに、続々と新たな試み ツキネコから目が離せません。

保護猫活動をしている方なら、雑誌やSNSで「ツキネコ北海道」のことを耳にし、目にされているはず。それほど、ツキネコは全国的にも有名なNPOです。

そこで、新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきた9月末、「Go To トラベル」が本格稼働するこの機会を逸すといつ行けるかわからないと思いい立ち、「ツキネコ北海道」へ飛び立つことにしました。

猫助けのきっかけは、 エサやりさんの相談を受けたことから…。

札幌市の円山公園の近く、北5条手稲通に面して、NPO法人ツキネコ北海道が経営する猫カフェ「ツキネコカフェ」があります。朱色の扉をあけて入ると、「祝10周年！」のPOPが掲げられ、猫フードやカレンダー、本などが所狭しと並べられていました。2010年9月19日、札幌市で初めての《保護猫カフェ》として誕生して、ちょうど10年。コロナ禍のなか、新しい節目を迎えられたのです。待ち受けてくださっていた代表理事の吉井美穂子さんと滝澤礼奈さんに、さっそく根ほり葉ほり聞くことにしました。

吉井さんがそもそも猫問題に携わるきっかけになったのは、マンションで野良猫にエサやっている女性から相談を受けたことから。近隣からエサやり禁止を申し渡された女性は、猫を保護することもできず、かといってエサを待つ猫を捨てておくこともできず、猫を思うと心がかきむしられる思いで、吉井さんに助けを求めました。彼女の惑いと哀しみに胸を突かれた吉井さん、それなら猫に里親をみつけてあげればいいのかと思い、八方手を尽くして猫にも相談者にも喜んでもらえる結果をだしました。

この経験は、吉井さんに思いがけない喜びをもたらしました。当時、美容師として、また経営者として辣腕をふるっていた吉井さん、外車を乗り回して豪勢に遊べるくらい、仕事も順調、遊びも順調、はた目からはひとかどの成功者とみなされていました。しかし、漫然としたむなしさを覚える毎日だったといいます。それが図らずも、野良猫のいのちに向き合って悩む人の話に耳を傾け、自分自身が動くことで、不幸な猫を減らすことができた。解決できた喜びは、何にも代えがたいものであり、今までにない新しい生き方に気づいたのです。この件を皮切りに、吉井さんのところに猫の相談が相次ぐようになり、『ツキネコカフェ』の誕生につながります。

吉井さんのこの経験をもとに開設されたのが、道内唯一、開かれた「猫の相談窓口」です。直近の3か月で実に80件もの相談が寄せられています。それも、些細な事柄から多頭飼育崩壊といった大ごとの相談まで、多種多様。それを相談シートに書き込み、担当者に振り分け、解決にあたります。

哺乳猫の救出や多頭飼育崩壊など、 連携プレイで解決へ。

ツキネコの大きな特性は、「相談窓口」で受けた案件を精査し、必要ならすぐに「保護」し、家猫として順化させてから「譲渡」という一連の流れが、システム化されている点です。

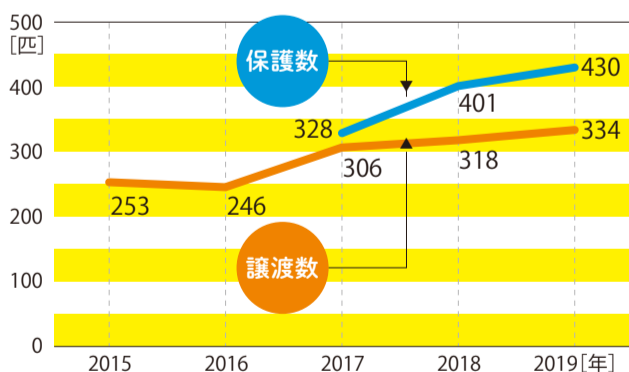
取材にお伺いした翌日、ツキネコカフェに行くと、段ボールに遺棄された3匹の哺乳猫がいました。ツキネコせたな支部からのSOSで蘭越町のボランティアさんを経由して吉井さんたちが受け取り、次は哺乳ボランティアさんにつなぐとのこと。猫を助けるために数珠つなぎで人がかかわり、人と人の絆が自然にできあがっていました。

目下、社会的な問題として注目を集めている「多頭飼育崩壊」についても、新しいネットワークによる取り組みが功を奏し始めています。今年6月にツキネコに相談があった江別市の案件、36歳の飼主が不妊手術をしないで2匹の猫を飼い始め、気づけば52匹。手が負えなくなっていたのを隣人でツキネコの里親さんが見かねてツキネコに連絡・相談。江別市の協力を仰ぎ、市民生活課が「どうぶつ基金」の行政枠で不妊去勢チケットを申請、北海道で唯一のスペイクリニックMobile VET Officeで手術。術後、ツキネコで引き取り、順化し、譲渡に進んでいます。行政との協働が社会的な課題に取り組むNPOとしての生き方に新たな活力をもたらしています。

Withコロナで、ツキネコは大変身！ ネットショッピングで1か月170万の売上。

2月20日、新型コロナウイルスの市中感染を受けて、ツキネコカフェ、ニャンダーハウスの休業に踏み切ります。保護猫カフェとい

■ツキネコ北海道の保護数と譲渡数の推移



※譲渡数には永年預かりの保護猫が含まれています。永年預かりされた保護猫はホームページの「卒業猫一覧」をご覧ください。

う稼ぎ場を失ったわけですから、300匹近い保護猫の日々の食事に医療費を賄う方法を生み出さねばなりません。また、有償ボランティアを含めて、15人というスタッフの日々の暮らしも賄わなくては、設立10周年を無事に迎えることができません。破綻します。

そこで、スタッフが一堂に会して、Withコロナをどう生き抜くか、どう稼ぎだすかを話し合いました。今までありがちだった代表の吉井さんの指示待ち的な雰囲気は一掃されて、YouTubeを始めよう、ネットショップだ、譲渡会もネットでやろう…と、次々とアイデアが噴出。そして、その一つ一つを実現させていったのです。なかでもネットショップBASEで発売したマスクを含め、4月だけで170万円も売り上げたのには驚きです。全国各地にツキネコを応援してくれる方々がこんなにもいるのだというその事実がスタッフ全員胸が熱くなりました。

今年で還暦を迎える吉井さん、今後は社会的な目標設定を明らかにし、後進の指導と教育に力を入れ、持続できる活力のある組織を目指していく。そして、人と人をつないでくれた猫たちのための《終生飼養施設》を創り、信頼してくださるみなさんの期待にこたえていくと決意を語ってくださいました。

※ツキネコカフェの「永年預かり制度」につきましては、
4頁をご参照ください。

■多頭飼育崩壊取扱案件

案件名(地区)	総数(匹)	受入数(匹)
2019年 新規多頭飼育 崩壊案件		
札幌市すすきの	13	12
札幌市東区	17	17
苫小牧市	15	8
名寄市	25	3
千歳市	19	22
小樽市銭函①	15	15
札幌市中央区	15	8
札幌市西区①	27	27
札幌市ふ頭TNR	40	6
小樽市銭函②	39	39
札幌市西区②	25	19
札幌市西区③	10	5
小樽市美晴	15	12
美咲市	23	9
合計	298	202

案件名(地区)	総数(匹)	受入数(匹)
2020年 上半期 新規多頭飼育 崩壊案件		
名寄市①	35	21
蘭島(保護・TNR)	40	17
根室市	26	26
札幌市中央区	13	13
札幌市動物管理センター	238	12
名寄市②	13	11
小樽市潮見台	11	11
小樽市緑町	14	14
江別市	52	52
千歳市	43	40
合計	485	217

▶保護猫カフェ
『ツキネコカフェ』



▲開業10周年記念セールで
にぎわう店内



■NPO法人 猫と人を繋ぐ ツキネコ北海道 DATA

〒060-0006 北海道札幌市中央区北6条西25丁目1-6(ツキネコカフェ) ☎011-641-8505

[代表] 吉井 美穂子

[スタッフ] 15名(アルバイトを含む)、ボランティア約400名(うち、約140名が一時預かりボランティア)

[情報発信] ツキネコ北海道HP: <http://tsukineko.net/>

ツキネコ北海道・ネットショップBASE: <https://tsukineko.thebase.in/>

Facebookページ: <https://www.facebook.com/tsukinekohokkaido/>

twitter: <https://twitter.com/tsukinekokafe>

アメブロ: <https://ameblo.jp/tsukineko-hokkaido/>

Instagram: https://www.instagram.com/tsukineko_cafe/

YouTube: <https://www.youtube.com/channel/UCOLB8PBIN1QZb2tZmdsFXAA/featured>

[関連団体] ツキネコ里親会: ツキネコ北海道から猫を譲渡された方たちの任意団体。我が家の猫自慢や近況報告が日々アップされている。メンバー1,580人。Facebookページ: <https://www.facebook.com/groups/21325955885269>

▶初代看板猫 政五郎

